

会 議 議 事 録

1	会議名	令和6年度 第2回 長岡市栃尾美術館協議会
2	開催日時	令和7年2月20日（木曜日） 14時から15時30分まで
3	開催場所	長岡市栃尾美術館 2階 展示室2
4	出席者名	（委 員）7名 境野 委員、目黒 委員、北山 委員、岡村 委員、 山本 委員、渡辺 委員、柴田 委員 （事務局）6名 梅沢 中央図書館長、五井 中央図書館長補佐、諏佐 栃尾美術館長、 坂井 栃尾美術館主査、酒井 会計年度任用職員（学芸員）、 加藤 会計年度任用職員（学芸員）
5	欠席者名	1名（星野委員）
6	議題	（1）報告事項 ①令和6年度事業報告について ②令和7年度事業計画（案）について
7	審議結果の概要	・議題（1）報告事項について 事務局提案のとおり承認した。
8	審議の内容	
	事務局	議題（1） ① 令和6年度事業報告について 【展覧会事業】 （資料1－1、1－2、1－3、1－4により説明） ・「館所蔵品展 春の展示」 年度をまたいだ展示。4月の12日間で73人の観覧者があった。 ・「日本刀の美展」 前回（R2）の約6,000人よりは減少したものの、安定した人気で2,764人の観覧者があった。科学博物館の協力で、新潟県指定文化財「和島・城之丘遺跡出土 毛抜型太刀」も紹介できて良かった。 ・「星野道夫展」 ネームバリューのある人気写真家の展覧会で、県内外から4,434人の来館があった。長岡まつりの際には、遠くアラスカからお越しの方もあった。 ・「松岡達英展」 これまで松岡さんの展覧会は市の中心部での無料展示が多く、栃尾での有料展示での反響を心配したが、想定の2倍の2,584人の集客があった。 親子連れや松岡さんのファン、出版社、ギャラリー、美術関係者など幅広い客層で、あらためて松岡さんの人気ぶりに気づかされた。科学博物館に寄贈された松岡さんが採集した昆虫標本も一緒に紹介できて良かった。 ・「ながおかのこども作品展」 44校638点の出品数で2,140人の観覧者があった。去年は54校966点で2,166人だった。出品数が減少した割には、観覧者数はさほど変わらなか

	った。 今年度はここまでで、11,955 人の観覧者数があり、年度内には 12,000 人を超える見込みで、令和元年以来となる。3つの企画展がいずれも一定数のファンをもつ企画だったことが集客増の理由と思われる。 【普及事業】 ・ワークショップ、講座等 年間を通じ、対象や内容の異なる様々な事業をバランス良く実施することができた。協議会委員から「とちびまつり」や「折紙リース作り」にご協力いただいた。 ・団体見学 児童支援放課後デーサービスの団体や保育園、小学校等の利用があった。 ・アトリエ利用状況 例年どおり、いくつかのサークルが定期的に利用している。 ・ギャラリー利用状況 1 年間に 18 の団体・個人が利用し、ほぼ空きのない状況。利用が無料のこともあってか、募集を超える申し込みがあり、抽選を行った。
会長	この説明に対して、ご質問等はあるか。 アトリエ利用で、以前利用していた陶芸グループの利用はなかったのか。
事務局	メンバーの高齢化等でアトリエの利用は近年無くなった。
委員	初めて「秋の折紙リースづくり」を担当したが、対象と難易度のバランスや、展覧会に合わせたテーマにするのが難しかった。夏にはギャラリーで作品展をさせていただき、大変お世話になった。 「松岡達英展」では絵本の販売がなくて残念だった。一緒に来ていた孫に買ってあげたかった。原画の感動を絵本でわかちあうとか、おばあちゃんと孫でコミュニケーションもできると思うし、本屋にも売ってなかったりする。
事務局	松岡展ではサイン会（2回）時のみ販売業者に入ってもらい、ほぼ完売だった。窓口での販売については、職員が委託販売は行えず、買い取る必要があるため、現状では難しい。お客様の楽しみという点で物販の必要性は感じているが、今後の課題として検討したい。
委員	過去に開催した「長谷川義史展」でも販売があったと思うが。
事務局	その展覧会も委託業者が入っての販売だった。
委員	今、美術館の楽しみ方として、ミュージアムショップの比重は高い。

会長	例えばだが、QRコードでアマゾンに注文できるとか、何か良い方法があると良い。
委員	1階のハイビジョンシアターは壊れたままなのか。
事務局	ハイビジョンシアターとしては、ソフトもハードも使用できない状態。別の目的の部屋に改修するとしても、予算に限りがあり、他のもっと優先度が高いものがあるため、今のところやむなく情報コーナーとしている。
会長	稼働率はどうか。
事務局	情報コーナーとしても、まあまあ利用されている。
委員	稼働率はあるかもしれないが、もったいないと感じる。何かできると良い。
事務局	以前、絵本の読み聞かせをしたことがあった。昨秋の松岡展でも2階会場入口のモニターで映像上映をしたが、そういったものとか、スクリーンに映して講演会とか、工夫して何かできると良い。
会長	今後の課題としてもらいたい。
事務局	② 令和7年度事業計画（案） 前回の第1回協議会でご意見をいただいた「贅女写真展」と「茶と美展」は、諸事情により来年度の開催が見送りとなった。今後も検討は続けていく予定。 【展覧会事業】 （資料2により説明） 令和7年度は、開館30周年ということで、多くのお客様から足を運んでいただけるよう、過去に集客実績のある人気の高い企画展で、かつ内容が魅力的な購入企画展を2つ行いたい。 ・「言霊の墨 金澤翔子の世界展」 東京オリンピック2020の公式アートポスター制作の一人に選ばれるなど、国際的に活躍し注目を集めるダウン症の書家 金澤翔子の作品展。戦後80年にあわせ、平和への祈りを込めた作品を中心に、2012年の長岡まつりで揮毫した大作「長岡大花火」も展示予定。平和への意識が高まる夏に開催予定。 ・「写真展 138億光年 宇宙の旅」 NASAの画像を中心に、観測衛星や惑星探査機、宇宙望遠鏡がとらえた美しく驚異的な天体の姿を、大型の高画質写真プリントでご覧いただく。国立天文台上席教授の監修で、サイエンスとアートの両面を楽しめる。以上の2つは、物販コーナーも予定している。

	・「ながおかのこども作品展」 これまでの2つのこどもの作品展を1つにまとめて開催。前期後期にわけて、真冬の後期を、栃尾地域の園児・小中学生対象とする方向で検討中。現在開催中の「ふるさとのこどもたち展」が、こどもの数の減少で展示作品数が減り、園の負担が増えていることや、大雪でも地元の方であれば来やすいということを考慮した。 ・「館所蔵品展」 春から夏の展示では「開館 30 周年 収集のあゆみ」と題し3期に分けて展示。1期は美術館開館の原動力となった「栃尾の作家たち」、2期は合併20年に合わせて「長岡の作家たち」、3期は「初夏の展示」を予定。展示室1では、地元出身で日展等で活躍した桐生照子の追悼展示を行う。当館所蔵の約80点全てを3期にわけて展示する。 【普及事業】 現時点では詳細は未定。開館 30 周年の展覧会事業が優先となるため、できる範囲で実施したい。 ・「開館 30 周年の取り組み」 第1回協議会のアイディアを参考にロゴマークやスタンプラリーを検討。 【その他】 ・休館日の見直し 12月から3月は、通常の月曜休館に加え、火曜日も休館とする。この時期は「こどもの作品展」と「館所蔵品展」にあたり、入館者の多くは土日に集中している。平日はゼロ人の日もあるなどの偏りが見られることから、光熱水費の節約と、業務の効率化・合理化を図る。 ・クラウドファンディング 長岡市が行っているクラウドファンディングに当館も参加。展覧会事業が対象。これから準備し、8月から市のホームページで寄附を募る予定。
会長	この説明に対して、ご質問等はあるか。
委員	クラウドファンディングの目的は何か。ふるさと納税みたいに何かもらえるのか。
事務局	来年度は2つの購入企画展をやる中で、展覧会の予算は確保してあり入館者も見込んでいるけれども、それだけでは弱く、財政当局から社会教育施設であっても確実な歳入の確保を求められているという面がある。 美術館が今後も良い企画を継続していくための歳入確保の一環として、クラウドファンディングを利用してみようということ。目標金額は100万円とした。詳細は今後検討する。
会長	運営が厳しい他の博物館のいろいろな取り組みをニュース等で耳にする。

委員	金澤翔子さんの招聘はあるか。
事務局	企画の中に招聘は入っていないので、今のところ予定はない。
会長	予算のプラスアルファの部分をクラウドファンディングで補えたりすると良い。「宇宙の旅展」でも、美術館のテラスに望遠鏡を持ち込んで天体観測とかすると面白いのでは。
事務局	教育センターの先生に協力をお願いしての天体観測会を検討中。
会長	講演会等の計画はあるか。
事務局	話はあるが、美術館で数百人の受入は難しいため、検討中。
委員	道の駅やトチオーレのホールはどうか。
事務局	可能性の一つとしては考えられる。
委員	行事はやった方が良い。大きくなくても、小さなものをしっかりやるというのも良い。県内には天体写真家もいる。事業の縮小ばかりだと、負の連鎖を呼ぶ。行事が刺激となる。
会長	これは巡回展なのか。
事務局	期間限定の巡回ではなく、パッケージとなった企画を購入するかたち。金澤翔子展は、今回のために内容を組んでもらう。
会長	特別な周知は考えているか。
事務局	金澤翔子展はダウン症の会があれば声かけしたいと考えている。
委員	以前中央図書館で開催した時は金澤親子が来られた。映像も覚えている。
事務局	今のようにな有名になる前で、無料の展示だったが、10,000人を超えた。
委員	夏は日中暑すぎるので、夕方や夜まで開館延長するのも良いのでは。秋も「宇宙の写真展」に合わせて丁度良いかもしれない。
委員	以前、とちパルであったように、学生さんが大きい字を書くみたいな企画があると、夏休みに親御さんと一緒に来たりとかするのでは。

会長	来年の施設計画はどうか。
事務局	電気設備関係やエレベータの修繕等を予定している。いろいろ不具合があるが、優先順位の高いものから行う。
会長	松岡展の観覧料 500 円は安いと感じた。来年度の企画展の観覧料の予定はどうか。
事務局	松岡展は市の財産となった寄贈作品の公開だったため、安く設定した。来年度の購入企画展は一般 1,000 円、高大生 500 円、中学生以下は無料としたいと考えている。団体割引もある。
会長	県内の他の美術館等とのつきあいはどうか。
事務局	合併までは、県博物館協議会に加盟していたが、合併後は科学博物館だけ加盟するということになった。個人的につきあいのある学芸員はいる。
会長	他館と連携して、作品を貸し借りしあうとか、共通パスとか、結構やっているのでは。
委員	パスポートは常設展を 1 回見ると、次はなかなか行かない。企画展を除かれるとあまり魅力がない。美術館としての特色を出すと、固定ファンがつくと思う。栃尾美術館も景観を生かすと良いのでは。
会長	水琴窟も良い。
事務局	残念ながら中越地震以来、音が鳴らなくなった。地中の甕や皿が壊れたと思われる
会長	本日の議事はこれで終了とさせていただく。ご協力ありがとうございました。 以上